

愛知県支部

中小企業における環境事業を成功させるポイント研究

近年、地球環境問題への関心の高まりを受けて、中小企業経営者も環境問題をないがしろにして経営を継続することが難しくなっています。環境問題への取り組みを機会ととらえ、環境分野への進出を希望する中小企業は極めて多く、さらに増加の兆しを見せています。われわれ、中小企業診断士もさまざまな形で環境事業を検討する企業経営者から相談を受けることも増えてきております。しかしながら、多くの中小企業経営者は、大規模リサイクル事業や、インフラ事業などだけを環境事業への取り組みとしてとらえがちであり、大企業中心の事業展開や ISO14001 取得などが必要ではないかと考えて、環境事業進出を躊躇されるケースも見受けます。また、経営資源が限られる中小企業では、既存事業と連動した環境事業展開は難しいのではないかと考えがちです。そこで、新規事業として環境事業を志すも関連法規制や各種条例などのすべてを把握することは難しく、補助金をはじめとする公的支援策などを活用することも新規参入企業には、難しい状況です。そのため、少しの障壁で、環境事業への進出を断念する中小企業も現実に見受けられます。

そこで、われわれ環境事業調査研究 PT（プロジェクトチーム）は、「中小企業における環境事業を成功させるポイント研究」を、本年度の調査・研究事業のテーマとし、環境事業に取り組んでいる 9 つの企業・団体にヒアリング調査を行いました。その調査・研究結果を分析するなかでわれわれは、環境事業成功のためには、特別な経営資源・経営指標を必要としないという結論に至りました。この成果を皆さまと共有するために本報告書を作成いたしました。また、調査・研究のなかから見えてきた「環境事業成功のための経営診断チェックリスト」を報告書巻末に添付いたしました。中小企業診断士はもちろん、環境を事業化したいとお考えの中小企業経営者様、中小企業支援機関関係者様など、一人でも多くの方に役立つ報告となれば幸いです。

【環境事業成功のポイント】

今回の調査・研究事業における調査にて、環境事業成功のポイントは、以下の 2 点であると結論を得ることができた。

- ①環境事業とは、新たに作り出すものではなく、まして現在の事業との関連性の薄い新規事業を無理に立ち上げることでもなく、自社の経営資源から視点（見方）を変えることで見つけ出すものであること。
- ②環境事業を成功に導く最大のポイントは、BSC（バランススコアカード）
5 つの視点（戦略・ビジョン、経済的（財務）、マーケティング、運営管理、組織・人事）のバランスをとること。